

二署合同訓練（12月10日～12日）の最終日で小型無人航空機（ドローン）を活用した支援活動等に関する協定を締結している株式会社ピッコロ社と合同訓練を実施しました。



指揮隊と指揮支援隊が、指揮所からは目視できないホットゾーンやウォームゾーンの活動状況を確認し、災害現場全体の把握や、検索漏れの有無について確認しました。



救助中隊長もドローン映像にて救助小隊のホットゾーン内での活動状況を確認し、未検索エリアでの要救助者情報を指揮隊と共有するとともに、現場活動隊員に救出指示を行いました。



☆今後ドローンで期待できること☆

1. 災害現場の上空からの全体像の確認
2. 目視不可、もしくは接近不可（危険）地区の確認
3. 人命検索、災害地点の確認、検索補助及び赤外線カメラによる熱源把握
4. 特殊災害でのドローンによる先行簡易検知
5. 資器材の搬送、投下
6. 照明機器を持ち込むことが困難な現場での照明ドローンによる活動補助
7. 撮影した映像等を活用しての現場検討会や教養

※上記のすべての活動が、現在本消防組合が保有するドローンでできるものではありませんが、今後ドローンを活用しての消防活動に期待される一部です。